防犯心得帖

農家の皆さんは後片付けに、また商店の皆さんは最後の追込みに、その他一般市民の方々もおのおの越冬準備にお忙しいことでしょう。

毎年の例ですが、歳末は一年の総決算をするときで生活苦や借金苦からとかく人心は荒み勝となり殺気立つて来るためか他の盗犯と共に殺人・強盗・詐欺のような、きょう悪犯や智能犯が比較的に多発しますのでお互いに被害にかからぬよう充分の注意が肝要であります。

年末は兇悪智能犯が多発！
僅かなすきが犯罪を招く

当市警察署では、これら犯罪の一掃を図り歳末防犯の完璧を期するために全署員を動員して昼夜の区別なく警戒を強化して皆さんから、いささかの不安もなく越年していただけるよう念願して、歳末防犯運動を展開しております。しかしながら犯罪の予防は、一人警察だけがいかに懸命になつても肝心の皆さんがその心構えに欠けていたり、すきがあつては、いわゆる「人作つて魂入れず」でこれではなんの効果も期待できないことはいうまでもありません。そこで皆さんからどんな心構えを持つていただく必要があるか、次のことがらについて充分な御協力を仰ぎたいと思います。

一、外からの侵入を防ぐ手段

(1)戸締は完全に
外出又は寝るときは戸締を完全に施して下さい。特に格子の設備ある窓・高窓・便所窓裏口などは戸締を怠り勝ですが設備や構造に安心して施錠を怠つたために取返しのつかない被害をうけた例が沢山あります。また柱や戸桁に打込だだけの掛金は一すこじると抜け易い危険があります。

(2)内部は暗く外部は明るく
内部を暗くして外部を明るくしておくと外から内部の様子をうかがうことができない代りに内から外をうかがい易い利点があります
犯人は少しでも暗い処をえらんで侵入をしようとしますからその余地を残さぬように工夫の必要があります。

(3)破損箇所はすみやかに修理補強すること
格子・柱・床下・汲取口・戸桁・門扉などその他腐朽が甚だしいものまたはこわれた処の修理補強は一日もゆるがせにしないで早急に行いましょう。

(4)家廻りに踏台に利用できるものは放置しないこと
梯子・空箱・木材その他踏台に利用されるおそれのある物は放置しないように心掛けましょう。

(5)心張棒は一見よいようでも実際は用をなさないもの
心張棒は外部から外すことは容易です。また外から簡単に戸を外される危険もありますから心張の代りに釘を戸の上下に差込む方が効果があります。

(6)硝子戸には板戸か金網を用いること
これは「焼切り」という手口の泥棒を防ぐためです。「焼切り」というのは硝子を火で焼切つて破り中の錠を外して侵入するものです。これを防ぐには硝子戸の外側え更に板戸か金網を張ることです若し、それができないときは細目の格子戸として下さい。

(7)外からの施錠は禁物
白昼は勿論夜の場合でも外から錠を施すとは「この家不在です」と証明しているようなもので危険です。最近では空巣除けの錠があつてこれを用いるとよい。

(8)訪門者にはすぐ応待できるよう心掛けること
玄関または裏口に人が訪れたときはすぐ応待に出るよう心掛けましょう。これを怠ると玄関などにある靴や傘を掻払う泥棒もあります。

(9)異様の物音に関心を持つこと
汽車の沿線や音を立てる工場附近または風雨雪の激しい晩やラジオに夢中になつているときは少し位物音がしても家人が気に留めないから被害にかかり易いものです。小さい物音でも変だと思つたらたしかめましょう。

(10)夜の訪門者は特に御注意
一面識もない訪門者については昼夜の区別なく注意を要しますが特に夜の訪門者には充分注意して下さい。急に居直つて強盗となる例が随分あります。

二、スリ犯にはこの用心

新津の市日には必ず一、二件のスリ被害があり、その被害者の大部分は農村婦人が多い。特に歳末はスリにとつて、かき入れ時ですから次の諸点に特別の注意を払いましょう。

(1)自分はいつも狙られているという自覚を持つこと。

(2)買物籠や手提袋には決して財布などの貴重品は入れておかないで必ず手に持つか紐をつけて身につけましょう

(3)多勢人だかりしている処では特に注意を要し後から押されるか、人を掻き分けて前に出る者があるときはもつとも被害をうけ易いものです。

(4)買物に気をとられぬようにしましょう。他に気持をうばわれているとき被害にかかつても知らずにいるし、盗る方も楽です。

(5)スリ犯は男女の区別がなくまた大人とは限りません。自分の周囲にどんな人がいるか注意しましょう。

(6)スリ犯は長いことつけ狙つてすきをうかがうのが普通です。財布の中の金高またその財布のおさめ処も見ています。人に金の出し入れは見られぬようにしましょう。

(7)買物は予定を立て不要の大金は持たぬようにしましょう。

(8)汽車・電車・汽船の中では網棚に貴重品を置かぬようにしましょう。スリ換え・抜き取り・掻払いなどの被害をうけ易い。

(9)ズボンの後ポケットは一番スリよい処です金や財布は上衣の内ポケットまたは腹巻に入れましょう。

(10)手に提げた鞄でも切つて中味を抜かれます人混みの中では、すきを作らないように注意しましょう。

三、詐欺に対する用心

(1)うますぎる話にうつかり乗ると失敗を招くもとです。

(2)一面識もない者または素情の知らない者などに多額の金品を託してはいけません。

(3)有名知人または父母兄弟親戚関係その他職場の名前などを用いて金品受領に来る者がある。この場合よくたしかめた上で諾否を決めましょう。

(4)職場・病院などの使いと称して面識のない者が迎えに来てもうつかり家をあけたりしては大変です。仲間の者が空巣をやります。また使いの者に金品を渡してはいけません。

(5)郵便局や銀行の窓口またはその途上で偽工員や偽刑事による詐欺がある。どんな場合でも事実かどうかたしかめるだけの余裕を持つこと。

四、その他被害防止上の心得

(1)深夜の訪問客には内部からよくたしかめてから戸を開けること。

(2)駅または自動車の待合室で見知らぬ人に荷物を預けたり、その場え置いたまま席を外さぬよう注意しましょう置引などの被害にかかり易い。

(3)自転車には必ず錠を施すこと。一寸と思う心が仇となります。

(4)婦人の深夜一人歩きは痴漢の目標となります。淋しい暗がりでは二人以上で歩くか泊るかしてできるだけ危険は避けましょう。

(5)屋内の見易い処には鉈・斧・出刃その他刃物類または昆棒などを置かないことで泥棒に悪用されます。

(6)犬を飼つているから安心だということはかえつて仇となります犬は通行人か泥棒かの見分けがつかない。

(7)戸を開放つたまま裏または奥で仕事に夢中になつていると人が来ても気がつかないし空巣にかかる率が多い。

(8)洗濯物は夕方になつたら必ず取込むこと。自転車なども放置して置かないよう注意しましょう。

(9)ころばぬ先の要心に隣家とベル連絡の設備は押売除けにもなる。

(10)便所の汲取口や掃き出し口は人の出入ができないよう小さく作り臭気抜き窓の格子は丈夫に作ることが望ましい。

五、被害をうけたらどうするか

(1)あわてず落着いて応答し、茶を勧める程の余裕がほしいものです

(2)泥棒の人相・着衣・言葉及びなまりなどその特徴を充分知ることです。

(3)外出先から帰宅または起床後被害を発見したらそのまま手を触れず警察に届出ること。あわてて掻き乱したり踏み込んだりすると証拠がなくなるから注意のこと。

(4)泥棒を発見したときは、勝目がなければ手出しをしないで尾行するなどの方法でこれを看視し警察にすみやかに連絡して下さい。

(5)被害の届出はできるだけ早くしましょう。電話で「泥棒」と言えば局ではすぐ警察に連絡しますから非常電話を利用しましょう。

【市警察署】

寄生虫駆除実施

当市では十二月中旬（但し学童は若干遅れる予定）寄生虫の駆除を実施いたしますから御協力下さるよう御勧めいたします。

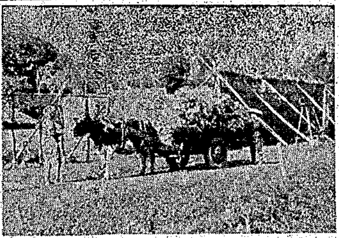
一、御申込は隣組毎にとりまとめ連絡員・嘱託員を経て市へ。

一、実施の日時その他細部は追つて通知する。

一、検便料は国保負担で無料。

一、駆除は医師の治療による。但し初診料免除他の治療費は半額国保負担です。

寄生虫は、全人口の七割位に及んでいるといわれ私共の健康と労働力に及ぼしている影響は実に大きいのであります。学童の成績が低下したり、大人でも外見は健康そうでありながらすぐいろいろの病気にかかり易くなつたり、また法定伝染病にかかるのも寄生虫の保有者が平均多いといわれています。【保険・厚生課】



自給肥と經濟安定に
一石三鳥の酪農

酪農は土地から得た飼料を乳牛に与え、乳を生産しつゝその糞尿を土地に還元して地力を著しく増進する役目をはたし、また猫の手も借りたい農繁期には写真のように一役をかつてふん闘しています。

本市の酪農は昭和二十六年から計画的導入をはじめて現在二十三頭飼養され、特に川口・結部落が盛んであります。【農務課】

年末年始の火災予防

いよいよ冬型の季節に入り、ことに年末年始はどこの御家庭でも火気の使用が激増してくることと思いますが、最近県下各地においてひんぴんと中・小火災が発生しております。これらはいずれも不注意による火災でありますから御互に次のことに充分御注意いたしましょう。

一、寝る前に必ず火気の使用個所を点検していただきたい。

二、工場・事業場・会社等には防火責任者をおき退庁（社）時には消火の確認をされたい。

三、電気器具・電動機等の使用後はスイッチの切替を確認してもらいたい

四、煙突で破損している個所がないか、可燃物に触れているところがないか、確認してもらいたい

五、油類と火気の使用個所が接近しておらないか

六、幼小児童の火遊びに注意してもらいたい。

「大切な宝を火災から守りましょう。」

【消防署】

野鼠駆除週間
12月8日から11日まで
禁、犬猫の放し飼い

秋の収穫も終り野ねずみ退治の季節がまいりましたので本市では、農家各戸の御協力のもとに十二月八日から十一日まで水田及び畑の全耕地一斉に、劇薬フラトール（モノフオール酢酸ナトリウム製剤）を用いて、野ねずみ退治を実施しますから御家庭の犬・猫・にわとりなどを野放しにしないよう御注意下さい。【農務課】

家ねずみも

家ねずみは一般に人口の約三倍いるといわれていますから、当市には約十一万六千余匹が棲息していることになりますが特にその繁殖力が大であるうえに伝染病の媒介をしたり、大切な食糧を食い荒すなど年にうける被害は実に莫大なものであります。当市においては野鼠駆除と併行して十二月八日全市一斉に家ねずみの徹底的駆除を実施いたしますから、市民の皆さんお互の生活環境をよりよくするため是非御協力下さい。なお近く殺鼠剤を五世帯に一本（二十グラム入り）の割合で無償配給いたします。【厚生課】

ちょっとした不注意から
交通事故急増

当市の交通事故が逐年増加し、特に本年別表のように多数発生したことは、まことに遺憾にたえません。

一般に強盗・殺人などには相当刺戟されても、交通事故には余り関心がないのでしょうか、本年市内で交通事故のため死亡した五人のうち四人は九十一月の間に発生したもので、何れも僅かな不注意がこの悲惨事の原因となつています。

幼児の一人歩き、車の直前直後横断、踏切の一時停止、四ツ角の廻り方などに一寸注意すれば事故がおきません。特に年末ともなれば寒気が増し気も心も忙しくなり、気がせくままに、無理なスピードや、追越し、または脇も見ずに飛び出すことや、寒さのため頭きんを深くして歩くことが事故の原因となります。市民の皆さん常にこの一寸した注意をして事故を起さないよう御協力をお願いいたします。

【市警察署】

	昨年	本年十一月まで
事故発生件数	一三件	三五件
内 死者	ー	五
傷者	一〇	二一
物的損害のみのもの	三	九
事故発生件数のうち自動車事故	一二	三一
一、物的損害額	六四千円	七四三千円